

ホスピタリティ入試 ホスピタリティAO入試 対策講座 第2回

亜細亜大学経営学部
ホスピタリティ・マネジメント学科
教授 那須一貴

ホスピタリティ入試の課題と考え方

ホスピタリティ・ビジネスに関することで、
身近で起きていることや各自が興味を持っていることを
題材に考えてみよう。

ホスピタリティ入試の課題

- 課題文をよく読み、何を求められているのかを考えましょう。
- ご自分で取り組みやすいもの、情報を集めやすいものを選びましょう。
- ホスピタリティ・マネジメント学科入学後に学びたいと思っているものと、必ずしも一致しなくてもかまいません。

課題レポートの内容に正解はありません。皆さんの主張に筋が通っているか、が重要です。

評価のポイント

① 自分の考え方が述べられているか？

「調べたこと」を書くのではなく、「自分の意見・考えとその理由」を書きましょう。

② 自分の考え方の根拠となる「資料」や「データ」が示されているか？

「資料」や「データ」を用意することで、自分の考え方を明確に相手に示すことができます。資料やデータを集めて提示しましょう。現地調査など、自分で集めたデータを示すことも大変効果的です！

課題

①ホスピタリティ・ビジネスに関する課題

【課題のテーマ】ホスピタリティ・ビジネスに関する企業について

ホスピタリティ・ビジネスに関わる企業を1社選び、その企業の商品やサービス、あるいはその他に関することが消費者に喜ばれ、選ばれているとあなたが考える理由について、その事例を示し説明してください。事例は、1つでも複数でも構いません。

なお、ここでいうホスピタリティ・ビジネスに関わる企業とは、ホテルビジネス、ブライダルビジネス、フードサービスビジネス、トラベルビジネス、パッサージャーサービスビジネスに関わる企業を対象とします。

ワープロソフトを使用して、3,000 字以内で作成したものを提出してください。参考にした文献があれば、主なものをいくつか示してください。この部分は 3,000 字には含みません。

※実際の課題レポートは『入学試験要項』の『入学試験出願書類』で必ず確認してください。また、出願の際にはワープロソフトを使用して作成したもの（書式については『入学試験出願書類』を確認のこと）と、他の出願書類（調査書等）と合わせて提出してください。

※入学試験要項は 8 月以降に「あじばこ(マイページ)」で公開予定です。

考え方 ① 対象を決める。

① 身の回りにある、ホテルビジネス、ブライダルビジネス、フードサービスビジネス、トラベルビジネス、パッセンジャーサービスビジネス、に関する企業や商品・サービスを選ぶ。

(例：〇〇ホテル、〇〇ブライダルが実施している・・・というサービス、〇〇食品が出している「◇◇」というお菓子、・・・)

考え方 ② 「誰が」選んでいるのか？



「消費者」といっても、その範囲は広い。
あなたが選んだ商品やサービスは、「誰が」選んでいるのか。
高校生？大学生？社会人？ 年齢層は？
どんな趣味や好みを持っている人が選んでいるのだろうか？
どんな時に、それを選んでいるのだろうか？

考え方 ③ なぜそれを選ぶのか



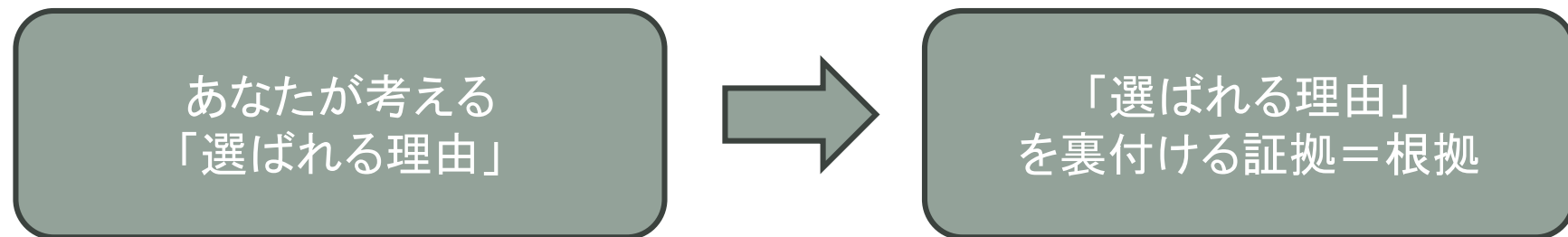
それが選ばれるということは、

- ① 他よりも良い点がある。
- ② 他ではできないことができる。
- ③ 他よりも手に入りやすい。
(金額が安い、どこにでもある)
など、必ず理由がある。

これについて、

「選んでいる人」×「選ぶ理由」
という視点で考えてみる。

考え方 ④ 根拠を示す。



証拠になるもの = 客観性があるもの

- ① 自分で実施したアンケート調査、インタビュー調査
- ② 本、論文、新聞記事など、誰が書いたかが明確であるもの
- ③ これまでに実施されているアンケート調査、インタビュー調査など

証拠にならないもの = 個人的な意見

- ① Youtuberやインスタグラマー、ブロガーなどの個人的な意見
- ② 「私はこう思うから」という思い込み

調査・研究の進め方

自分で調べ、行動し、考えることがポイントです。

調査の方法

1. 文献調査、インターネットによる調査
2. インタビューによる取材
3. アンケート調査
4. 現地への訪問

「調査」及び「データ収集」のポイント

「調査」のポイント

1. 自分でテーマを設定し、アプローチ方法を決定すること
2. 現状を把握し、分析すること

「データ収集」のポイント

1. 客観的なデータを用いて、状況を分析すること
2. 客観的なデータを用いて、自分の主張を裏付けること

「調査」で注意すること

1. 「見てきたことの報告」にならないこと。
2. 「何のための調査なのか（目的）」を忘れないこと。
3. 「なぜその調査場所を選んだのか」「なぜその人にインタビューしたのか」、その理由を明確にすること。

インタビュー調査のポイント

1. 事前に面談の約束を取り付けておくこと。
2. インタビューを通じて明らかにしたいことを決めておくこと。
3. あらかじめ質問事項を用意しておくこと。

インタビューは「教えてもらいに行く」のではなく、「情報を集めること」と、「自分の考えがズレていないか確認しに行く」ものと考えておくといいでしょう。

アンケート調査のポイント

1. アンケート票はA4で1枚程度にすること。
2. 「自由に書いてください」と質問するのではなく、「はい、いいえ」や「5段階評価で○を付ける」といった質問の方が答えてもらやすい。
3. アンケート調査は、「知らないことを教えてもらう」のではなく、「自分の考えがズレていないかを確認するもの」です。

現地への訪問のポイント

1. 事前に訪問する場所について、良く調べておきましょう。
2. 何を見てくるのか、何を調べてくるのかを明確にしてから行きましょう。
3. 沢山写真を撮ってきましょう。
4. あまり遠方に行くのではなく、何度もいける場所を選んでおいたほうが便利です。

文献調査、インターネットによる調査

1. 図書館を利用しよう
2. インターネットを利用しよう

文献調査・インターネット調査で注意すること

1. 個人の「ブログ」や「ウィキペディア」は使わないこと。
2. どのデータを集めれば良いのか、をまず考えること。
3. データの出典を明らかにすること。
4. 集めたデータを説明しただけ、にならないこと。

図書館で集められるデータの例

1. 「白書」や「統計資料」

例：観光白書、経済白書、交通政策白書、中小企業白書、スポーツ白書、その他

2. 雑誌や新聞記事

例：新聞社が出版している雑誌や過去の新聞記事等

3. 専門的な本

各自で調べたいテーマに関連した様々な本があります。

最後にもう一度、注意すること。

1. 調べたことを書いただけ、にならないこと。
2. 「自分の主張」が必要です。
3. それを裏付けるためにデータを集める、ということを忘れないようにしてください。

ホスピタリティAO入試対策

新聞記事を要約してみよう

新聞記事を要約してみよう 手順

1. 自分が興味を持った新聞記事を選ぶ。
2. その記事の要約文を書いてみる。
3. ご家族や友達に、その新聞記事について説明してみる。



自分が興味をもった新聞記事を選ぶ

ポイント

- ホスピタリティ産業（トラベル、航空・空港、ホテル、飲食、ブライダル）に関する記事があればベスト。
- そのような記事が見当たらなければ、なるべく身近な内容の記事が良い。
- 記事が長すぎないものが良い。まずは短い記事からやってみよう。

要約文を書いてみよう ①

- ① 見出し、リード、本文を読み、記事全体を理解しよう。
- ② 意味段落に分けて、記事の内容を書き出す。



選んだ新聞記事

…は、…である。

しかし、…

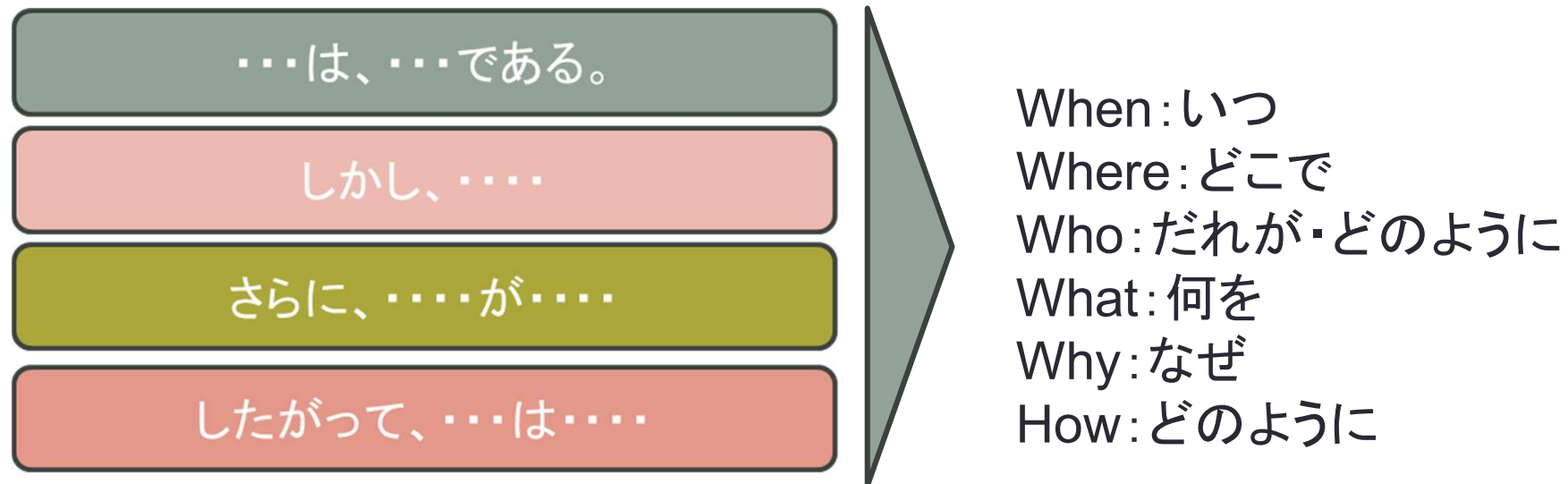
さらに、…が…

したがって、…は…

接続詞に注意しながら、
意味毎に記事を区切り、グループを作る

要約文を書いてみよう ②

- ③ 意味段落ごとに要点をまとめる。
5W1Hに気をつける。
主語と述語、目的語を明確にしながらまとめること。



接続詞に注意しながら、
意味毎に記事を区切り、グループを作る

要約文を書いてみよう ③

- ④ 要点に基づき、自分の言葉でまとめてみる。
新聞記事の文章をそのまま使わないこと。

ポイント

- 自分の言葉を使う。
- 専門用語は解りやすい言葉に変える。
- 自分の意見は入れない。
- 記事の構成の順番は変えない。

ご家族や友達に記事を説明してみよう

- 解りやすい言葉で、自分の言葉で説明する。
- 1分以内で、簡潔に説明する。
- 主語・述語・目的語を意識して説明する。



ご清聴ありがとうございます。

合格目指して、
一緒に頑張りましょう！

亜細亜大学経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科
教員一同